

平成27年6月27日(土)

天神峯遺跡

第2次調査

平成26年度調査

1区

2区

3区

平成27年度調査



天神峯遺跡は日高市北平沢地区にあります。
公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団では、県道飯能寄居線の建設工事に先立ち発掘調査を実施しています。天神峯遺跡は高麗川左岸の入間台地上に立地し、北側には高麗川支流の宿谷川が東流しています。

今回で2回目となる発掘調査では、縄文時代早期(約7,000年前)の炉穴や縄文時代中期(約4,500年前)の竪穴状遺構、狩猟にかかわったと思われる落とし穴等が発見されています。

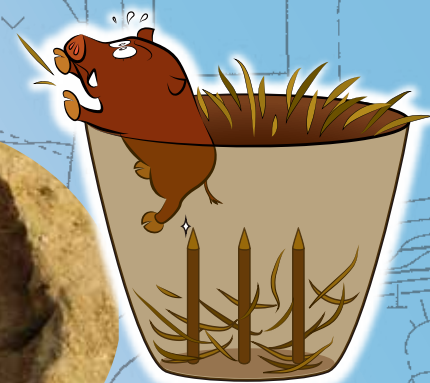
その他に、平安時代(1,100年前)の住居跡も発見され、かつてこの地に住んでいた人々の暮らしをうかがうことができます。



中 國 書 畫

①縄文時代の竪穴状遺構
約4,500年前の竪穴状遺構で
す。煮炊きに使用した土器の
破片が出土しました。

①縄文時代の竪穴状遺構
約4,500年前の竪穴状遺構で
す。煮炊きに使用した土器の
破片が出土しました。



②落とし穴

落とし穴と考えられる穴です。槍のように先端が尖った杭を立てた跡と思われる穴が見つかりました。



④平安時代の竪穴住居跡

カマドが確認され、土師器の甕や須恵器の坏が出土しました。



がくりや
⑤「賀厨」の墨書土
器が出土しました。



③縄文時代の墓（約7,000年前）
埼玉県では類例のない土器が出土しました。長野県との交流がうかがえる珍しい土器です。

事務所

1 ☒

平成 26 年度調査

($S = 1/1,250$)

※「^{かみ}賀厨」とは賀美郡（上里町）の^{くりや}厨家（給食センター）のことです。